



餅つきの由来は、奈良時代の記録によると「伊勢神宮などに鏡餅が備えられていた」と書かれています。餅を食べる習慣は、武家の年中行事が商家へと伝わり、商家から農家へ。農家では、神仏や農具に餅を供え、豊作と家内安全を祈ったそうです。

園では、4日にみ仏様にお供えするためにお餅つきをします。

お餅つきの日には、ご近所のおじいちゃん、おばあちゃんにもご参加いただき、お餅つきのことなど教えていただければと思っています。

詳細については、後日プリントを配布します。



お手伝いをさせよう

子どもたちは、お手伝いが大好きです。「ありがとう」「助かったよ」という言葉を聞くと、自分が認められたと思うのでしょう。二度手間になると思われるかもしれませんが、その子にできるお手伝いを見つけ、役に立つ喜びをしっかりと味あわせてあげてください。

園でも、子どもたちと一緒に年末の大掃除をします。



令和5年

12月の園だより



年長さんの優しさはどこから来るの

朝夕の気温の変化に体がついていけず、急な発熱などで体調を崩すお子さんも徐々に増えてくる頃です。今年は、すでにインフルエンザと診断されたお子さんもいます。流行を防ぐため園では、手洗い・うがいを励行し、午睡を含め十分な休養とおいしい給食で栄養を摂ってまいります。ご家庭でも『早寝早起き、朝ごはん』に心がけ、予防に努めていただければと思います。

先日開催いたしました『すいこうわくわくランド』には、たくさんの方においでいただき、賑やかに開催することができました。今回は、食育PRも兼ねて、献立の中から子どもたちの人気チキン3種を取り入れたところ、保護者から「こんなおいしいものを毎日食べているんですね。」とか、「おいしかったので、チケットを追加しました。」と、嬉しい声もありました。天候にも恵まれ、事故もなく楽しんでいただけたのは、早朝よりお手伝いをいただいた保護者の皆さんのおかげと心より感謝いたします。ありがとうございました。

作品会場も昨年に増して賑やかで、子どもたちの上映する映画は、入場待ちの方が出るほどでした。映画館は、年長さんが、みんなで考え、工夫して座席を作ったり、声優になったり、絵を描いたりなどして役割を分担し、お客さんに最高のおもてなしができるよう準備をしました。そのほかのコーナーは、年長さん、年中さん、年少さんが縦割りグループで取り組みました。4月から縦割りグループで朝の体操をしたり、歌をうたったり、給食を食べたりしてきたので、兄弟のようです。年長さんが、「ここにテープを貼って。」とか「ここは、絵具で塗ったらいいね。」などと具体的に言葉を添えて、年中さんも年少さんをリードしてくれました。年長さんは、いつも小さな友だちに寄り添ってくれているのですが、そこには年長さんの葛藤もあったようです。それは、もう少しで出来上がると思ったところ、年長のNちゃんの言うことを聞いてくれない年中さんがおり、Nちゃんは、「ちゃ

んとやってよ！」と年中のお友だちに強く言ってしまったのです。その日おうちに帰り、お母さんに年中さんを怒ってしまったことを泣きながら話したそうです。そのことを聞いて、Nちゃんの小さな胸の中は、「怒ってしまった」と言う罪悪感、「ちゃんとやって欲しい」という責任感が入り混じり、張り裂けそうだったのではと思うと、切ない気持ちになりました。大人と同じくらいの感性を持っている子どもたち。一人ひとりの思いに深く寄り添っていかねばと思えました。また、『わくわくランド』が終わった次の日もホールでのあそびは続いており、2歳児さんを招待したとき、接待をしている年長さんは、どの子も2歳児さんの目線になり対応していました。誰かが言ったわけではありませんが、みんな2歳児さんの目線に合わせて腰を折ったり、膝をついたりして対応しています。その姿は、相手を思いやる気持ち、優しさそのものです。異年齢で過ごすことで、大きい子どもたちは、自分のしたいことをちょっぴり我慢したり、泣いている友だちに優しく声をかけたりして、相手のことを思い、人と関わる力が育っているのですが、優しくしてもらった経験がないと自分の気持ちを抑えて誰かに優しくなんてできるものではありません。人の心の中には、優しさカップがあるのだそうです。優しくしてもらうことでカップはいっぱいになり、カップからあふれた分、誰かに優しくできるのです。年長さんは、周りの大人やお友だちなどいろいろな人から優しくしてもらって、優しさカップがいっぱいになっているでしょう。カップの大きさは、みんな違うのですが赤ちゃんの時からしっかりかわいがってあげ、どの子どもも持っている心の中の優しさカップをいっぱいにしてあげたいですね。

これから寒さも厳しくなり、年の瀬という事であわただしい日々を過ごされることでしょう。ご家族揃って明るい新年を迎えられますことを願っています。

園長

すいこう認定こども園

子育てメッセージ

ギュッとして ホッ！

ときどき、子どもも親も不安になる時があります。どうして泣くの？どうして話を聞いてくれないの？どうして…？どうして…？そんなとき、子どもをギュッと抱きしめてみてください。ほら、自分の心があたたかくなって、子どもの心もあたたかくなって…。ホッ！それでいいんです。

年長さんも生まれてまだ6年。しっかりギュッと抱きしめてあげてくださいね。

(社)全国私立保育園連盟
子育てメッセージより



＜年越しに 食べるもの＞

年越しそばは、江戸時代ごろから食べられていました。その由来については、さまざまな説があります。

- そばの実が三角形なので、邪気を払う
- そばは、細くて長いので長寿になるように

などがあります。また、地域によっては、年越しにうどんや、さけやぶりなどの年取り魚を食べる風習があります。

